

復 命 書

	所長	次長	総務課長	技監	治山課長	係長	課員
供 覧							
日時	平成 20 年 4 月 24 日 (木) 11:00 から 12:15						
出張先	県庁 建設部 森林局内						
用件	熱海市伊豆山地内の無許可開発について						
内容 及び 結果	<p>熱海市伊豆山地内で行われている [] による森林法の無許可開発について、森林計画室から別添メールにより、文書による指導を行うよう連絡があった。事業者を指導するに当たり、再度意見調整を行った。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 出席者 林地保全スタッフ []</p> <p>2 概要</p> <p>(1) 文書による行政指導について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 先ずは、相手に対し、5条森林を転用している事実を知らせ、中止させることが大切である。[] に対して行ったことと同様に統一的な指導を行う必要がある。 ・ 所内では、文書による行政指導は止むを得ないと考えている。4月30日～5月2日までの間に熱海市役所に事業者を呼び、執行したいと考えている旨を伝えた。 <p>(2) 応急対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 都市計画法等が認めている防災計画までは、応急対策として行っても構わないのではないかと考える。 ・ 具体的には、法面の整形及び緑化、簡易な土砂流出防止対策、土側溝等である。 ・ 道路の舗装等に着手すると、さっさと完了させてしまう可能性があるため認めない。また、定期的に監視する必要がある。 <p>(3) 復旧計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 宅盤等の平坦地について植栽を指導するべきか意見が分かれたが、結果としては、[] と同様に指導する必要があるとの意見に至った。 ・ 復旧計画の内容については、事務所の裁量に任せて欲しい旨を伝えた。 <p>(4) 熱海市への指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今回の復旧指導について熱海市は、かなりの部分を担う必要があると考える。県庁に謝りに来るくらいなら、復旧指導に力を注いで欲しいという意味である。 ・ 具体的には、熱海市が復旧計画書の作成をサポートする等が考えられる。県が熱海市に対して何かを行わせると言うのではなく、熱海市が主体的に [] の代わりに何かを行うことはありうる。 <p>(5) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今回の事例は、他法令の許可を取得している等の特殊な要因があり、過大な指導にならないか危惧している。過去の事例や判例等を調べるよう依頼した。 						

上記のとおり復命します。

平成 20 年 4 月 25 日

東部農林事務所長 様

職氏名 治山課 []